

## 新型コロナウイルス感染症と 多職種連携



空知南部医師会  
国民健康保険由仁町立診療所

ひさの かずなり  
久野和成

私が由仁町立診療所に赴任したのは元号が変わってすぐの令和元年五月初めのことであった。由仁町は以前より地域包括ケアの充実に向け地域包括支援センターを中心に様々な活動を行っていた。私が赴任する前年より総合診療医の島田啓志医師の着任を機に由仁町立診療所は在宅診療の普及により地域医療に寄与するという方向性の大きな変化が起こっている中での着任であった。

月に一度診療所会議室で診療所スタッフ、消防、ケアマネージャー、訪問介護、訪問看護事業所、介護施設の代表などが集まり情報交換をする場（一息カフェと名付けられていた）が非常に新鮮であった記憶がある。

また地域包括支援センターの保健師の脚本による人生会議をテーマとした一時間程度の劇に、地域に関わる様々な職種の人たちが自分の職業に扮したり、患者、家族、町の人を演じたり、練習を通じて多職種がより身近な関係性を構築できるように感じられる貴重な体験があった。その他「由仁エリア看取り塾」と銘打った援助的コミュニケーションの学習会にも地域で働く様々な職種の方々への参加があり、この地域の多職種連携はより身近な関係性を構築し、このエリアにおける地域包括ケアシステムは大きく前進するはずであった。

しかしながらの新型コロナウイルス感染症の流行である。

令和二年に入って本格化した新型コロナウイルス感染症に対して社会的距離を取ろうとする動きは様々な職種が関わる地域医療に大きな影を落とした。その中で令和三年より在宅療養に関わる多職種との情報共有をより円滑に図るため、空知南部医師会を窓口にして事務局を当診療所に置く形でバイタルリンクを導入し南空知バイタルリンク事業を開始した。

さらに新型コロナウイルス感染症により社会的距離を取らざるを得なくなった多職種間の関係性を深めるためにオンライン形式の勉強会を同年秋より施行している。

空知南部在宅ケア連絡会（通称：けあれん）と名付けられたこの活動は現在空知南部四町の地域包括支援センターとの事業協力もあり、およそ月一回開催されている。Zoomを用い、講師役はその地域で働いている様々な職種の人たちが持ち回りで担っている。一回の参加者はおよそ四十人前後、現在まで十五回の開催、のべ六八三人が参加している。けあれんの詳細は先日の北海道国保地域医療学会で当院医療福祉相談センターがポスター発表をしている。コロナ感染症という逆境の中で生み出された新たな多職種連携の形が今後の地域包括ケアシステムの充実に寄与することを願ってやまない。

## 夜空に平和を願う



上川北部医師会  
なよろ眼科

いの うえ りょう  
井上玲

ここ名寄も今年は雪解けも早く次第に木々の緑が生い茂る季節になりつつあります。

「緑陰随想」ということで、「緑陰」を調べると、「青葉の茂った木立のかげ」と記載されています。樹木や森林がある場所で、木々の葉が日光を遮り、涼しい場所をつくり出します。特に暑い季節や日差しが強い場所では緑陰を求めて休憩したり、涼をとったりすることがあり、緑陰は、自然の中での快適さや癒しを提供してくれるものです。

そこで、久々に「なよろ健康の森」を散策してみました。ここにはサッカーコートやパークゴルフ場、キャンプ場などがあり、隣の「道立サンピラーパーク」内には、名寄市「森の休暇村」オートキャンプ場もあり、なよろ市立天文台「きたすばる」が隣接する「星の見えるキャンプ場」として人気があります。

今日はあいにくの曇り空で星は見えずともなくプラネタリウムを観ることにしました。

演題は「月をめざして」ーロケットを作った研究者たちーというものでした。

過去に人類はアメリカのアポロ計画で月面着陸を果たしたわけですが、その歴史的なお話でした。現在は「アルテミス計画」として、再び人類を月に送り、長期滞在と持続可能な探査活動を実現することを目標としているそうです。

今回のプラネタリウムでは詳しく語られていませんでしたが、「アルテミス計画」では、月面上での基地の建設や資源探査、月軌道上での宇宙ステーションの構築など、多様なミッションを含んでおり、最終的には有人火星探査まで視野に入れている壮大な計画のようです。

計画自体はアメリカのNASAが主導しているものの、アポロ計画とは違い民間企業の協力や日本や欧州などの国際協力が重視され、日本人宇宙飛行士も月面着陸に参加させるという大変夢のある話です。

しかし、そもそも宇宙ロケット開発は戦争と軍備競争とは切り離せません。度々近隣の国で人工衛星打ち上げと称したミサイル発射実験が盛んにされて問題となっておりますが、人類が初めて宇宙に到達したのは第二次世界大戦中にナチス・ドイツによって開発されたV2ロケットというミサイルであることも有名な話です。

原子力にしても電気を生み出し我々の生活を豊かにする一方、戦争のための核兵器にも利用されます。

世界では現在も戦争や紛争があり、近隣でも様々な脅威がありますが、「アルテミス計画」のように科学の進歩が平和利用と国際協力に向けられることを願っております。